

乱世の時代の敵は中に有り」

～ 2チャンネルの脅威 ～

二黒土星の今年「労働者の反乱」の年なのだそうです。

最近、気になっていることがあります。

不二家、関西テレビ、などなど内部告発によって、経営の危機となっていることです。

当然、経営としてのモラルの問題も重要ですが、匿名で誰でも密告できることに心配しています。

企業経営として、このリスクを重大に考えておく必要に迫られています。

2チャンネル。

子供達でも8割が知っているそうです。

初めは風俗などの社会モラルが問題でしたが、最近は個人だけでなく、一企業を攻撃されることも多くあるそうです。

最近の著書で「グーグル8分」とい題名の本が発売されています。

なんだろうと手に取り目次を開いてみると、驚くことが載っていました。

グーグルが検索エンジンに載らないようにわざと排除している。

だから「射八分」ではなく、「グーグル8分」

2チャンネルは、不特定多数の人たちが匿名で、どんなことでも投稿できる。

他にはブログにしても、MIXEにしても誰でも簡単に、ネット上で何でも書けることができます。

では、誰が管理するのか？

いや、管理できるのか？

キョウイですね。

良い意味での「驚異」

これはクチコミですね。評判が評判を呼び、どんどんプラスの連鎖。

悪い意味での「脅威」

まさに誹謗、中傷。内部告発、悪口などなど。どんどんマイナスの連鎖。

WEB 2.0の世界では、これを止めることは出来ません。

さて、経営者の立場なら、どのような対策を考えますか？

今年から来年の緊急な課題となるような気がしております。

<コメント>

WEB 2.0の世界。これから本格的にやってくる。

情報が全て、オープンになる。

情報がすべての人が発信出来、すべての人が参画出来る世界。

情報の主権が、権力者から消費者に移行する一年のスタート

脅威になるのか？それとも驚異として味方にするのか？

「トップの経営のありかた」が問われる時代になったと心すべきでしょうね。

ITを知らずして、経営は出来ない時代になってきていると感じます。